

腎臓病の人でも生野菜をモリモリ食べられるように

1. 問題の現状

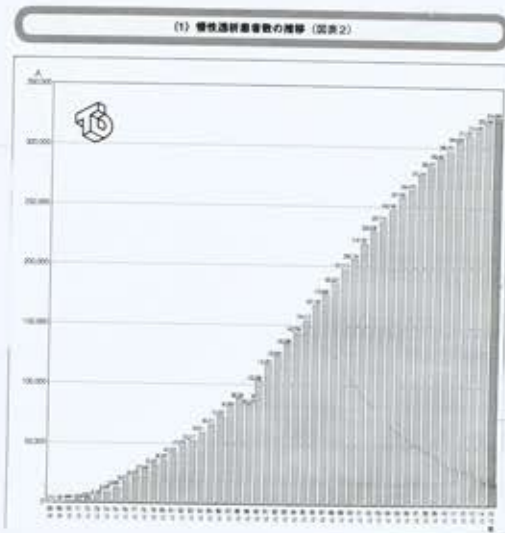
2015年末現在、国内の透析人口は32万4986人で増加の一途をたどっています。

カリウムは血圧を下げる働きがあります。しかし、腎機能が低下すると、腎臓から排出されるカリウムが体内に蓄積され、高カリウム血症を引き起こします。高カリウム血症は、不整脈を起し急死の原因ともなります。

カリウムは生野菜に多いため、腎臓病の人は生野菜を食べられません。

2. 具体的な問題の解決方法

土壌や地下水にはカリウムが含まれるので、栽培方法として水耕栽培の植物工場にします。水耕栽培では肥料をコントロールすることができるので、低カリウム野菜を育てることが出来ます。



そこで、

- ① 人工透析を行なう病院に植物工場を併設する。
- ② 病院内にカフェを作り、そこで低カリウム野菜を使ったメニューを提供する。
例 野菜サラダ、スムージー、サンドイッチなど
- ③ 低カリウム野菜を病院内で安く販売する。
- ④ 人工透析は週3回、1回4~5時間かかるので、定職に就けない人のために植物工場で作れるようになる。

ろ、まとめ

現在、低カリウム野菜はデパートや通販で売られていますが値段はとても高いです。病院や国が補助をすることで少しでも安くその場で患者さんに提供できれば、制限していた生野菜をもりもり食べることができるのではないかと思います。そして新たな雇用の場を生み出せると思います。

(2014年 横浜植物工場見学)

